

一目置かれる名古屋の手土産セレクション

NAGOYA souvenir selection

コピーライター、プランナー、コラムニスト。
工芸・着物・伝統芸能、職人の世界観、
現代アートや芸術全般、日仏文化比較、
紀行文などのテーマを主に手掛ける。
やっとかめ文化祭ディレクター。



コピーライター
近藤 マリコ

はじめて訪問する企業やご挨拶に向う先に、
気の利いた手土産を持っていけたら、相手に喜んでいただけるだけでなく、
そのセンスの良さに好感度アップという効果もついてきます。
季節はもちろん、訪問先の人数や男女比、職種によって、
選ぶ手土産は変わってくるはず。
ここでは、シーンに応じて使える
様々な名古屋の手土産をご紹介します。

vol.14

きよめ餅総本家

kiyomemochisouhonke



和菓子の技術でつくられたパンに、戦後復興の歴史を想う。



きよめ餅総本家は昭和10年創業で、今年86年目を迎えます。
赤ちゃんの肌のような真っ白でつるんとした羽二重餅に、丁寧に
炊かれたこしあんをくるんだ“きよめ餅”は、名古屋人なら誰
もが知っている銘菓でしょう。店の風情や歴史からして、和菓子
の老舗だと思ってきましたが、数年前に「きよめぱん」なるもの
が登場したと聞いて驚いたことを覚えています。さらに、50年
ほど前から洋菓子もつくっているとのこと。戦後の復興期に、日
本中の和菓子屋でパンや洋菓子がつくられるようになったこと
を思えば、決して不思議ではありません。

ここで紹介する「きよめぱん」は、和菓子屋らしく小麦粉と餅
粉をブレンドして生地をつくったもので、もちもち食感と粒あ
んの深い味わいがとても印象的。聞けば、戦後砂糖の入手が困難
となり、一時的に学校給食用のパンを製造していたそうです。
「おそらく当時はコッペパンのようなものだったと思いますが、
復刻するにあたり、和菓子屋として粒あんを入れて、あんぱん饅
頭のような仕上がりにしました」と取締役しんたくにしのりの新谷滋規さん。和菓
子屋がつくるパンで日本人が心を満たした時代に、想いを馳せ
てみたいと思います。

きよめぱん 3個セット 粒あん 550円(税込)、しよこら・ほうじ茶 650円(税込)
※名鉄神宮駅前売店にて土日のみ販売。ご予約があれば本店でも取り扱い可能。

other item

このほかにも...
お土産情報



1,550円(税込)
※写真はミニサイズ1,050円(税込)

① ブランデーケーキ

きよめ餅の洋菓子部門で人気の商
品。細やかな生地は口の中で溶ける
ような食感。たっぷりとしみこんだ
ブランデーは、お酒が弱い人なら酔
うほどの量。お酒好きな方にぜひ贈
りたい逸品。



8個セット 700円(税込)

① 一福餅

ひと口タイプの大福餅で、白とよ
ぎの2種類がセットになっている。
粒あん入り。小さなサイズ感と福の
焼印がとてもかわいらしい。おやつ
タイムに持参したら喜ばれるに違
ない。



熱田神宮の東門への入り口から通りを挟んで東側に、趣ある
外観のきよめ餅総本家がある。江戸中期に設けられ、熱
田神宮に参拝する人々が立ち寄ったといわれる「きよめ茶
屋」にちなんで、きよめ餅総本家が誕生したのは86年前。
以来、熱田詣りには欠かせないお菓子として知られるよう
になった。

📍 きよめ餅総本家

熱田区神宮3-7-21 052-681-6161
営業時間 / 9:00~18:00 (土日祝は8:30~)
定休日 / 年中無休 (名鉄神宮駅前売店と喫茶部は月曜定休)
<http://www.kiyome.net>

